

製品名: PDE4B/C/D (リン酸化 Ser133/119/190) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab05224

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	76kDa

抗原情報

遺伝子名	PDE4B/PDE4C/PDE4D PDE4B; DPDE4; cAMP-specific 3'; 5'-cyclic phosphodiesterase 4B; DPDE4; PDE32; PDE4C;
別名	DPDE1; cAMP-specific 3',5'-cyclic phosphodiesterase 4C; DPDE1; PDE21; PDE4D; DPDE3; cAMP-specific 3',5'-cyclic phosphodiesterase 4D; DPDE3; PDE43
遺伝子 ID	5144.0
SwissProt ID	Q07343/Q08493/Q08499
免疫原	抗血清は、Ser190/53 のリン酸化部位周辺のヒト PDE4D 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 156-205

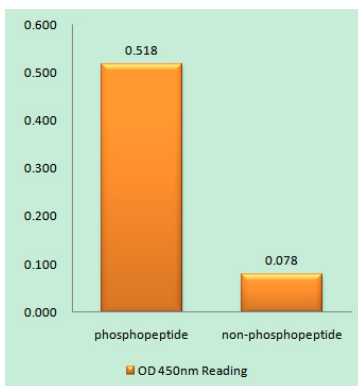
背景

この遺伝子は、IV型環状AMP (cAMP) 特異的環状ヌクレオチドホスホジエステラーゼ (PDE) ファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質は、細胞内の環状ヌクレオチド濃度を調節し、それによってシグナル伝達において役割を果たします。このタンパク質の活性変化は、統合失調症および双極性感情障害と関連付けられています。選択的スプライシングおよび選択的プロモーターの使用により、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2014年7月]、代替産物: 追加のアイソフォームが存在するようです、触媒活性: アデノシン 3',5'-環状リン酸 + H₂O = アデノシン 5'-リン酸。、酵素調節: ロリプラムによって阻害されます。、機能: 抗うつ薬から抗喘息薬、抗炎症薬に至るまでの治療薬の中樞神経系効果の媒介に関与している可能性があります。、経路: プリン代謝; cAMP 分解; cAMP からの AMP: ステップ 1/1。、類似性:環状ヌクレオチド ホスホジエステラーゼ ファミリーに属します。、組織特異性:脳、心臓、肺、骨格筋で発現します。、

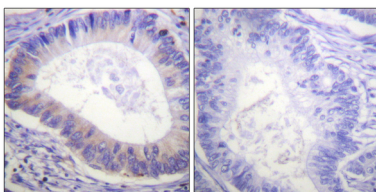
研究分野

プリン代謝;

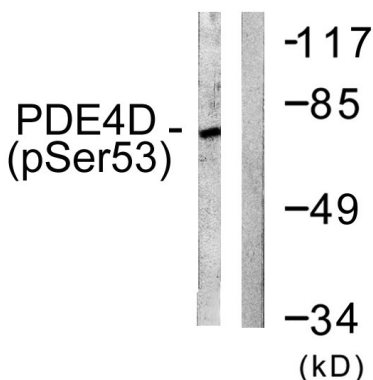
画像データ



PDE4D (リン酸化 Ser190/53) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



PDE4D (リン酸化 Ser190/53) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



K562 細胞ライセートを H₂O₂ 100uM 30分処理し、PDE4D (リン酸化 Ser190/53) 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。